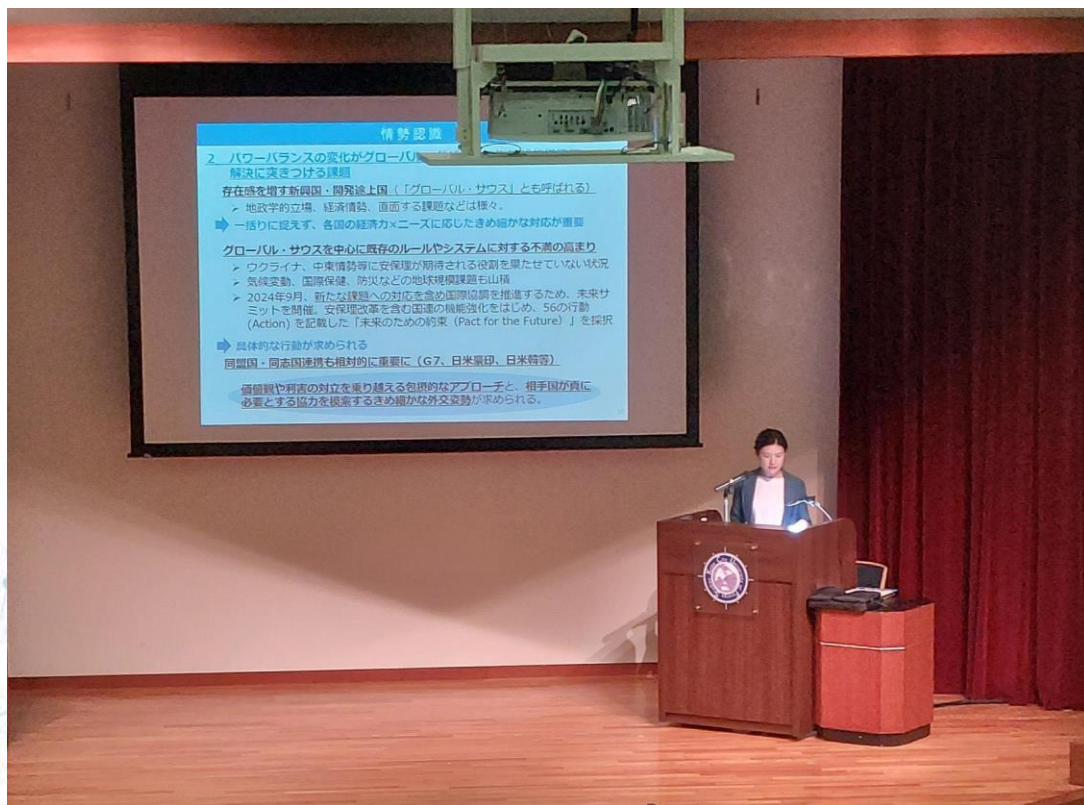


【開催報告】

2025年6月23日 於：神戸市外国語大学



国際秩序が転換期に来ている、という認識が深まり、外交の促進の意味としては、他国への理解も含まれるということがわかった。グローバル化が止まらない今は、全人類共通の幸せを目指すことの大切さもわかり、今後の言語の勉強のモチベーションがさらに上がった。

様々な分野に対して、それぞれFOIPのような目標を立てて、具体的に問題解決や目的達成の為に何にか取り組んでいるのが素晴らしいと思った。どれだけ大きな問題や難しい目標だったとしても、一つ一つ小さな1歩ずつ取り組むことが大事であると改めて理解することができた。

非常にわかりやすい説明で、ソーシャルメディア等で取り扱われている国際問題は、氷山の一角であり、依然として問題が山積みであることを再確認でき、国際人として更に意識を高めていきたいと感じた。

外交官のことはあまり知らなかったけれど、人間にしかできない仕事だと思い、とても興味を持った。世界を変えるられるかもしれない唯一無二のお仕事でとてもかっこいいと思った。座談会でも質問に答えていただきありがとうございました。

【開催報告】

2025年6月23日 於：神戸市外国語大学

外務省でのお仕事は多岐にわたるもので、想像していたよりもはるかに多くの業務内容があることを知って驚いた。広い視野を持った国際感覚が非常に重要な職業だと感じた。まだまだ、世界には多くの課題が残されていることも分かったので、全員が平和な世界を実現するために、私達も小さなことから1つずつ実践していくことが大切だと思った。

日本と交流のある国一つ一つを丁寧に解説していただき、視野の広さを実感した。また私も、この国は日本とこのように関わっているんだと、新しいことを沢山学べた。海外と日本を代表して関わっていくということは、柔軟な発想と理解力が必要不可欠だと感じた。特に、日本と隣国である中国・韓国・北朝鮮・ロシアについてのお話は興味深かった。私は特に北方領土について強い関心があり、平和国家として築いた信頼をもとに対話と協調の外交を通じて、どのように解決へと導くべきなのか、いろいろと考えさせられた。

